

2021年7月8日

林産物調達チェックリストの活用事例

ミサワホーム株式会社

調達部

野村 幸史

■ ミサワホームのCSR方針

MISAWA

ミサワホーム  「4つの育む」

子どもたちの未来のために、私たちは始めています。

環境を
育む

暮らしを
育む

日本の心を
育む

家族を
育む

■サステナビリティレポート

MISAWA

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

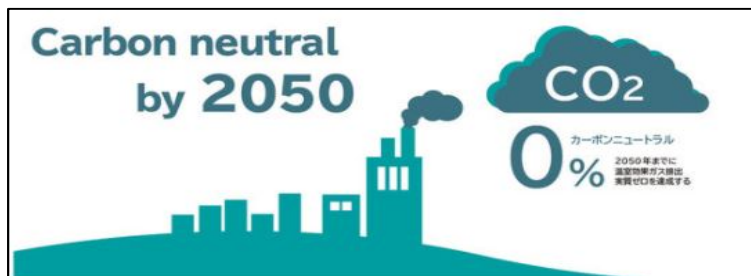
世界を変えるための17の目標



12:持続可能な消費と生産のパターンを確保する

14:持続可能な開発のために、海や海の資源を守る

15:森林の持続可能な管理など、生物多様性の阻止を図る



子どもたちの未来のために HEARTH Heart & Earth Design

親子のふれあいやご家族のつながりを深め、未来く安心して暮らせる、

Heartを大切にする住まいであること。

自然を感じながら心地よく暮らせて、地球環境に貢献できる、

Earthを大切にする住まいであること。

ミサワホームが目指しているのは、Heart(心、思いやり)と、Earth(地球)がひとつになった

*Heart&Earth=HEARTH(ハース)の住まいづくりです。

子どもたちの未来を、より美しく、より豊かな世界にするため、

私たちは住まいに人と地球への思いやりをデザイン。

ミサワホームグループでは「HEARTH」をCSR推進活動のテーマとし、

SDGsの目標達成に貢献できるよう、さまざまな活動に取り組んでいます。



HEARTH

深く信頼されるミサワホームをめざして



EARTH

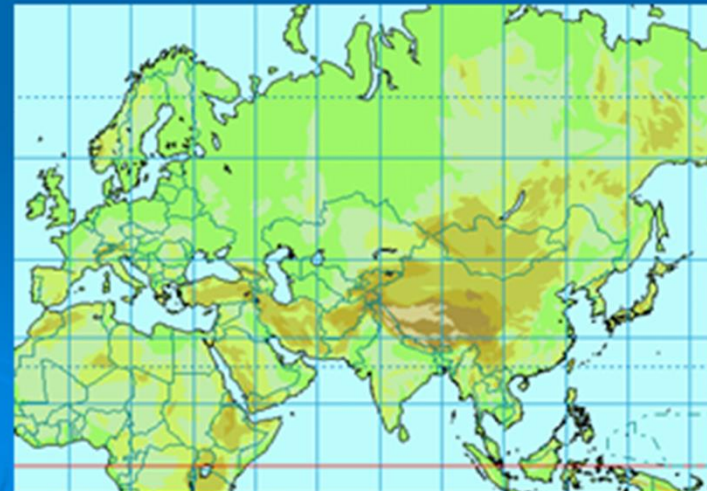
地球にやさしいミサワホームをめざして

企業の社会的責任

■ MHフィンランド ①

MISAWA

ミサワホームフィンランド(自社工場)



札幌・・・北緯43度
ミッケリ・・・北緯61.5度

ミサワホームフィンランド(自社工場)

製造工程

①



②



③



④



ミサワホームフィンランド(自社工場)

「PEFC-CoC認証」を取得したミサワホーム・フィンランド工場の森林資源活用システム



● 木材調達ガイドラインを策定

– 生物の多様さと自然の豊かさを守るために

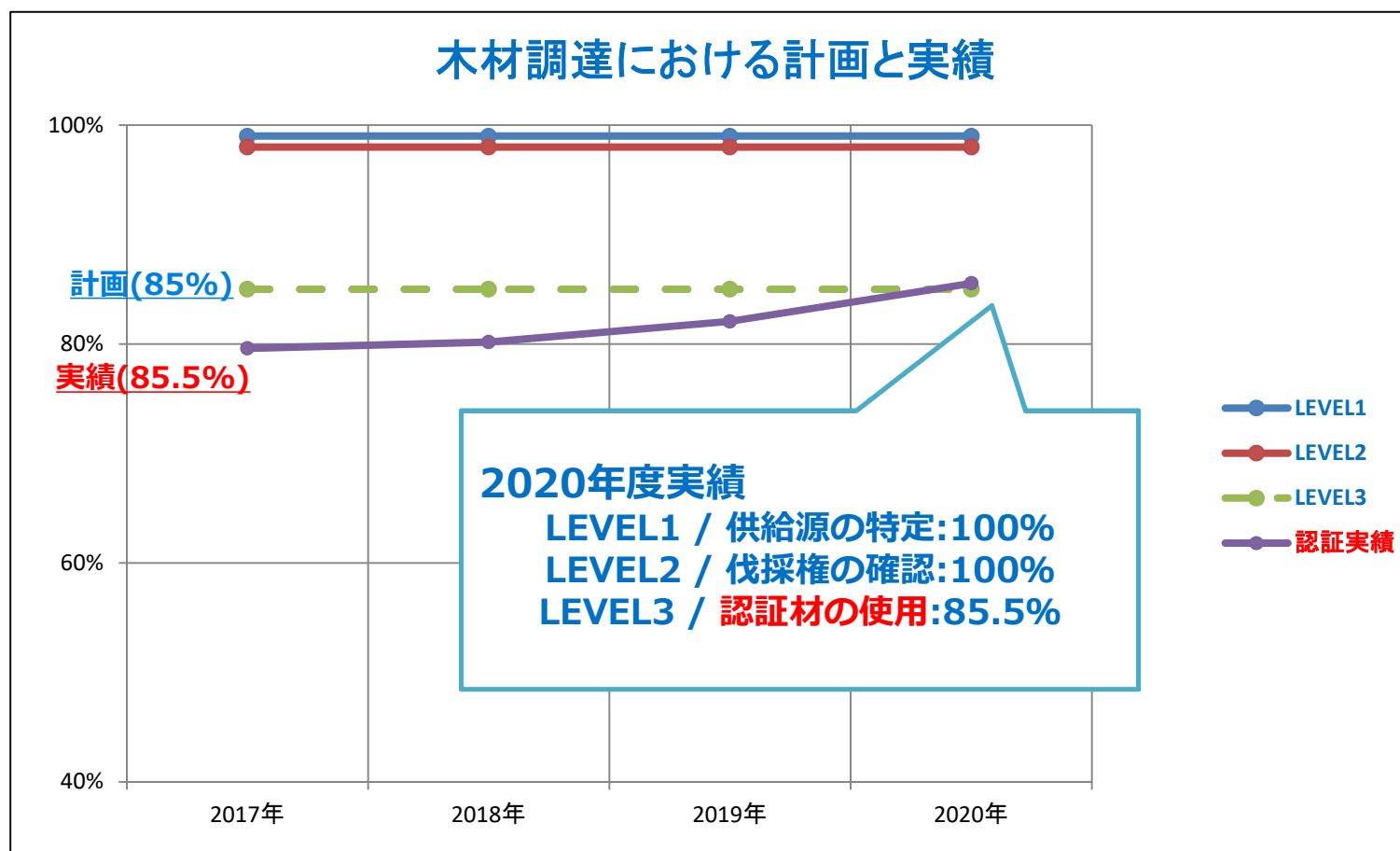
I 私たちは次のような木材を調達しません

1. 生態系に悪影響を与える木材
2. 絶滅の恐れがある樹種を使用した木材

II 私たちは次のような木材を積極的に調達します

1. 森林**供給源が特定**された木材（Level 1）
2. **伐採権**が確認された木材（Level 2）
3. **森林認証**を受けた木材（Level 3）

- 木材調達ガイドラインに基づく実績
 - － 計画：認証材の使用比率85%
 - － **実績：2020年度 認証材の使用比率85.5%**



■ チェックリストの活用①

林産物調達チェックリスト

- WWFジャパン様が作成・公開
- 木材の出所をトレースし、森林管理の適切性を評価

トレーサビリティ

木材の調達ルートを
原産地の森林までた
どり、出所を明らか
にします。

原産地リストの活用



調達している
国、州、都市

調達している
森林管理区域

トレース完了率		100							
再生材合計		0 %							
部材番号	製品中割合	部材名	材料名	材料詳細	樹種名	材料中割合	製品の出所をできる限り小さな単位まで記載 (国、州、都市など)	森林管理区域の名前 (事業者名など) (不明の場合はそのままに 不明としている場合には 上書きしてください。)	産地 ポート 番号
1	100 %	構造用芯材	構造用芯材	構造用芯材	スプルース	100 %	スウェーデン、スカンディナヴィア	スウェーデン、スカンディナヴィア	スウェーデン
				構造用芯材	スプルース	100 %	スウェーデン、スカンディナヴィア	スウェーデン、スカンディナヴィア	スウェーデン
				構造用芯材	スプルース	100 %	スウェーデン、スカンディナヴィア	スウェーデン、スカンディナヴィア	スウェーデン
				構造用芯材	スプルース	100 %	スウェーデン、スカンディナヴィア	スウェーデン、スカンディナヴィア	スウェーデン
				構造用芯材	スプルース	100 %	スウェーデン、スカンディナヴィア	スウェーデン、スカンディナヴィア	スウェーデン
2	0 %					0 %			不明
					再生材	0 %			不明
						0 %			不明
					再生材	0 %			不明
						100 %	不明		不明
3	0 %					0 %			不明
					再生材	0 %			不明
						100 %	不明		不明
						0 %			不明
					再生材	0 %			不明
4	0 %					0 %			不明
					再生材	0 %			不明
						100 %	不明		不明
						0 %			不明
					再生材	0 %			不明
5	0 %					0 %			不明
					再生材	0 %			不明
						100 %	不明		不明
						0 %			不明
					再生材	0 %			不明
合計		100 %							

調達している
国、州、都市

調達している
森林管理区域

■ チェックリストの活用②

森林管理の適切性

① 森林管理の持続性
(森林管理・伐採の合法性等)

② 環境面の持続性
(貴重な天然林減少等への影響)

③ 社会面の持続性
(先住民、地域社会への影響)

原産地シート

認証林、COC認証

証書書類の例	森林認証				第三者監査	文書による確認	現地確認	リスク評価	審判書	調達方針
	COC認証が繋がっている場合 ☐ FSC ☒ PEFC ☐ SGEI ☐ LEI	COC認証が繋がっていない場合 ☐ FSC ☐ PEFC ☐ SGEI ☐ LEI	自社の認証登録証など	他社の認証登録証 FSCラベルのコード	第三者による監査報告書など	伐採許可証、合法性証明書、研究機関による文書又はウェブページ等 NGO等	出張報告書、現地	リスク評価結果	仕入先からの審判書	自社又は仕入先の調達方針
基準1 森林管理の持続性										
1.1 保有権、使用権	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
1.2 森林関連法	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
1.3 経済的持続性	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
基準2 環境面の持続性										
2.1 環境関連法	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
2.2 保護価値の高い森林(環境面)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
2.3 環境に配慮した施策	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
2.4 自然林の他用途への転換 (森林の機能喪失又は減少に懸念を有しない)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
2.5 遺伝子組み換え (天然林の遺伝子資源喪失に懸念を有しない)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
基準3 社会面の持続性										
3.1 社会関連法	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
3.2 伝統的・市民的権利	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
3.3 地域社会と労働者	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
3.4 保護価値の高い森林(社会面)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

注1 森林管理者の経営計画などを含む
注2 森林経営者が発行する評価結果の書類などを含む

■ チェックリスト定着のための取組

MISAWA

- ・ 林産物調達チェックリストの理解と協力
 - ― 取引先皆様に向けて調達方針会議の開催

～調達方針会議～（半期に1回）

①品質

②納期

③提案

④木材合法性(2009年導入)

- 木材調達ガイドラインに基づく認証材割合の結果を共有
- 取引先皆様へ着眼ポイントの説明

⇒取組内容をご紹介します

～取組みのポイント～

【合法性木材の調達の取組みポイント】	
①	リモート調査等を活用し、原木供給者等に対する木材合法性の深堀
②	国産材使用比率UPに伴う、合法性の確認と認証割合の維持

～フィードバック～

・ 年1回HEARTHを公表

③	環境への配慮及びSDGsの取組み
---	------------------

前年より点数を上げるため以下に留意し、調査をして下さい

・トレーサビリティシートを可能な限り詳しく調査してください（国、地域の特定制までの調査をお願いいたします）

・着眼点：「遺伝子組み換え」

2.4	明)			
	遺伝子組み換え	☐	☐	☐
2.5	(天然林の場合天然林であるという証明)			

※PEFCの改定基準により、PEFC認証があれば、遺伝子組み換えが行われてないことになり、当該項目にチェックを入れることができます。

ご協力宜しくお願い致します

■ 現地視察による確認

MISAWA

・ 2020年度MHフィンランド社 現地確認

1. The origin of the wood raw material we supply is known and is not purchased from controversial sources defined by PEFC and FSC as described below. The wood we supply to the Buyer cannot get mixed up with wood sourced from unclear or controversial sources at any stage in the supply chain. Wood purchased from controversial sources does not comply with national or international legislation or do not meet the wood origin requirements of PEFC and/or FSC Chain of Custody standards.

Controversial sources:

Wood purchase, harvesting or transport

- a) does not comply with national or international legislation including work safety regulations, taxes and fees;
- b) does not comply with rights of indigenous peoples or other human rights;
- c) threatens important nature conservation values;
- d) converts forests to plantations;
- e) uses genetically modified trees.

The results of the FSC CNRA of Finland (Centralized National Risk Assessment for Finland CNRA, approved 27.11.2018) shall be taken into account in the procurement of the supplied wood. This requires that necessary control measures are implemented in order to identify important habitats for biodiversity (HCV1-3) and take into account Sami cultural values (reindeer herding) (HCV 5-6). The Seller warrants that it has familiarized itself with the instructions and map materials prepared by Tapio Palvelut Oy in May 2019 (including the map materials and the latest updated version of the instructions) regarding the potential HCV areas in Finland.

The wood supplied by the Seller shall not originate from Intact Forest Landscapes (IFL). The latest IFL classifications (2016): <http://www.intactforests.org/world.webmap.html>.

2. Wood raw material is of domestic origin, unless otherwise agreed. When delivering imported wood, it must be notified to the Buyer before delivery. Seller agrees to inform Buyer of any changes in its supply chain without delay.
3. The Seller commits to provide the wood origin information to the Buyer upon request. The buyer and Buyer's external auditor have the right to make logging and supply chain audits to verify the sustainable origin of the wood.
4. The Seller holds the following certificates and commits to use the indicated certification claims with the documentation relating to the delivery and sales of the wood. Non certified wood shall be delivered as FSC controlled wood and/or PEFC controlled sources.

Certificate	Certificate number at the time of signature
PEFC Chain of Custody (COC)	BV-COC-200774
FSC Chain of Custody (COC)	BV-COC-897631
FSC Controlled Wood (CW)	BV-CW-897631

The Seller has no chain of custody certificate



【目的】

⇒持続可能な森林の活用

【苦勞したこと】

- 入力内容の確認
- 評価点・認証割合の集計
- 取引先様への説明と理解を得る

トレーサビリティシート

製品名 _____ 部材No. _____

注:
 ・これは森林までトレースするための補助ツールです。仕入先に送付し、その仕入先を記入してもらうことを繰り返し、森林を特定してください。
 ・仕入先の数などに応じ、行、列など様式は適宜変更してご利用下さい。

加工 流通	社名①			
		↓		
	社名②			
		↓		
	社名③			
		↓		
社名④				
		↓		
社名⑤				
		↓		
森林	管理者名①			
	管理者名②			

サプライチェーンが見える

COCの確認

認証割合の増減背景の確認

【課題】

- ① ウッドショック・BCP
→ 材料調達の優先(非合法木材調達のリスク回避)
- ② 国産材の推進
→ 国産材認証材使用の場合の得点減

限られた資源を活用し、環境へ配慮する事が重要

■ SDGsの目標に向けて

MISAWA

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



HEART

深く信頼されるミサワホームをめざして



EARTH

地球にやさしいミサワホームをめざして

12 つくる責任
つかう責任



目標12（持続可能な生産と消費）

- 持続可能な方法で生産し、責任をもって消費する

14 海の豊か
を守ろう



目標14（海の豊かさを守る）

- 持続開発のために、海や海の資源を守る
- 海や海の資源を持続可能な方法で利用する

15 陸の豊かさも
守ろう



目標15（陸上の資源）

- 陸域生態系の保護・回復
- 持続可能な利用の推進
- 持続可能な森林雄経営 など

ご清聴ありがとうございました。